

えにしアカデミー

1期生学びの軌跡

オンライン講義

えにしアカデミーでは開学以来、滋賀が誇る福祉の実践者と、えにしアカデミーに熱意をもって賛同いただいた学識経験者による分野を越えた様々な講義が展開されてきました。

オンライン講義では60分のフェローの講義があり、その後30分は塾生同士によるグループワークやフェローとの意見交換が行われています。塾生は60分の講義で得た学びを、グループワークや意見交換でさらに深めています。

オンライン講義実施一覧

令和3年（2021年）

- 10月8日 福祉専門職に求められる価値観、人間力 ～ソーシャルワークの力～（空閑 浩人フェロー 同志社大学 教授）
- 10月8日 えにしアカデミーで獲得する力とは何か ～寺子屋教育から学ぶ～（沖田 行司フェロー びわこ学院大学 学長）
- 10月15日 滋賀の福祉人のキャリア形成とえにしアカデミーへの思い（渡邊 光春 滋賀県社会福祉協議会 会長）
- 10月22日 社会的包摂と福祉教育（原田 正樹フェロー 日本福祉大学 教授）
- 10月29日 共生社会の発展と地域福祉（上野谷 加代子フェロー 同志社大学 名誉教授）
- 11月5日 滋賀の福祉人の現場力。必要だから創るといふこと。（牛谷 正人フェロー 社会福祉法人グロー 理事長）
- 11月12日 多様性と社会的孤立、無縁といきづらさを克服する展望（湯浅 誠フェロー 東京大学先端科学技術研究センター 教授）
- 11月19日 コミュニティと共に実践する社会福祉施設（松端 克文フェロー 武庫川女子大学 教授）
- 11月26日 見えないものを見る力（金子 秀明フェロー 社会福祉法人さわらび福祉会 理事長）
- 12月10日 ボランティア・市民活動論（新崎 国広フェロー 大阪教育大学 教授）
- 12月17日 支援者が狭間を生まないように～ソーシャルワーカーのリーダーシップ、コンピテンシー～（野村 裕美フェロー 同志社大学 教授）

令和4年（2022年）

- 1月7日 地域福祉とソーシャルワーク（加山 弾フェロー 東洋大学 教授）
- 1月14日 地域住民、当事者の視点を大切に地域に入る（藤井 博志フェロー 関西学院大学 教授）
- 1月28日 人生100年時代を生き抜くために① ーファーストキャリアを考えるー（浦坂 純子フェロー 同志社大学 教授）
- 2月18日 包括的な支援体制の構築（永田 祐フェロー 同志社大学 教授）
- 3月18日 ほんまもの地域共生社会をどう展開するのか！（清水 明彦フェロー 西宮市社会福祉協議会 他）
- 3月25日 福祉のコストと社会的価値（鈴野 崇フェロー 京都大学経済研究所先端政策分析研究センター 准教授）
- 4月15日 地域子育て支援の意義と必要性（山縣 文治フェロー 関西大学 教授）
- 4月22日 乳児院・児童養護施設の子どもたち ～“えにし”をつなぐ実践を通して～（山本 朝美フェロー 社会福祉法人小鳩会 理事長）
- 5月13日 福祉社会を創るケースマネジメント（白澤 政和フェロー 国際医療福祉大学 教授）
- 5月20日 権利擁護支援の現場から（尾崎 史フェロー 認定特定非営利活動法人あさがお 理事長）
- 5月27日 社会的孤立への挑戦（渋谷 篤男フェロー 日本福祉大学 教授）
- 6月3日 社会的弱者の権利をどう守るか（土井 裕明フェロー 日本弁護士連合会 副会長）
- 6月10日 医療とつながっていく福祉、福祉人（辻本 哲士フェロー 滋賀県立精神保健福祉センター 所長）
- 6月17日 福祉実践を支える思想・価値 ～宗教から学ぶ～（山田 宗寛フェロー 児童養護施設小鳩の家 施設長）
- 6月24日 北欧の子育てに学ぶ ～子どもの権利の視点から～（佐藤 桃子フェロー 島根大学 講師）

令和4年（2022年）6月24日現在

QRコードを読み込んでいただくと各講義の様子をご覧いただけます。



▲R3. 10. 22原田正樹フェロー（日本福祉大学）



▲R3. 11. 5牛谷正人フェロー（グロー）



▲R3. 11. 12湯浅誠フェロー（東京大学）



▲R3. 11. 26金子秀明フェロー（さわらび福祉会）



▲R4. 4. 15山縣文治フェロー（関西大学）



▲R4. 5. 20尾崎史フェロー（あさがお）

集合講義

えにしアカデミーの学びはオンラインだけではなく、直に会って塾生同士の熱を感じながらの学びの場もあります。

文を書く

4月26日実施

担当：平田 篤州フェロー（福祉新聞社関西支局 支局長）



▲平田篤州フェロー

▲講義の様子

説得力のある文章とは？読み手が感動する文章とは？
新聞記者や編集長として活躍し、現在福祉新聞関西支局長の平田篤州フェローから、報告書や広報そして論文を書く際の秘訣（価値、知識、技術）について学びました。

コミュニティ オーガナイズングを知る

5月17日実施

担当：室田 信一フェロー（東京都立大学 准教授）



▲講義の様子

▲室田信一フェロー

コミュニティ・オーガナイズングとは自分達では変化を起こすことが難しい住民や当事者が、協同することで変化を起こす力を蓄える実践方法。コミュニティ・オーガナイズングの基本的な考え方を講義と演習を通して学びました。

塾生・フェロー交流会

塾生同士、また塾生とフェローの交流を深めるため、また仲間づくりのためコミュニケーションの場を設けました。

12月の交流会は雪の降る日でしたが、上野谷学長をはじめ4名のフェローと塾生17名が会場へ集まりました。

3ヶ月間講義を受けた感想や、入塾前と今のえにしアカデミーに対する思いの違いについてなどを話し合いました。

普段はオンライン上でしか会えていなかった塾生仲間ですが、直接会って話すことで、さらなる“つながり”が生まれていました。



▲R3. 12. 18交流会（大津駅周辺）



▲交流会（上野谷学長と中島フェロー）

塾生の声

ソーシャルワーカーができることは何かを考えながらも、大切なのはこの人に必要なことは何なのか、この人が何を求めているのか、というこの視点で見ることの重要性、その中で自分がこの地域の人たちとできることは何かを考え続けていくことを大切にしていきたいと思いました。（障害分野40代）

講義を聞いていて、制度の狭間にいち早く気づいて行動を起こしてきた方々の使命感や熱量に感服しました。そして一番印象に残ったのはSフェローの「制度はしばられるものではなく、捻じ曲げてなんぼ」とのお言葉です。その言葉を聞いた時は率直に「かっこいい」と心が震えました。（高齢分野40代）

一人の力で大きくことを動かすことは難しいですが、他分野の団体とつながりあうことで、新たな気持ちでその家族と向き合えることは、このえにしアカデミーで学んだことが生かされつつあると思わずにはいられません。（保育分野60代）

えにしアカデミーの講義をこれまで受けてきて、「あたたかい地域になるには、どうしようか」と、ワクワクするような気持ちで考えている自分が、少しずつ育ってきているのではないかと、感じています。（児童分野40代）

レジリエンスを我々が高めるためには、課題を我が事としてとらえる力や視点を持つ必要があります。ブレイクアウトルームでも他分野の仲間と少し話すことで、今後のつながりに広がります。私たちが越境し、えにしアカデミーの仲間とつながり、連携し、助け合い、地域福祉を推進できるように、30名の仲間ともしっかり知り合いたいと思います。（社協40代）

事業所の声

今の福祉現場では、「ひと・もの・お金」そして「時間」といづれも限りあるものとして、逼迫した状態のところが多いかと思えます。そこで、これらを有効活用し担える福祉人づくりのためには、これらの諸課題に向き合える機会づくりと職員が学び続けられる環境づくりを整えることだと考えます。リーダーになりたいのではなく、必要とする人たちがいるからこそ担うものだと思います。どうぞ、次世代を担う人材（リーダー）づくりに対し、高い志と意欲ある皆さんは「えにしアカデミー」へご参加ください。（社会福祉法人しがらき会 常務理事 上田 清樹様）

えにしアカデミーで学ぶ一人として、今までに知りえた知識と新しく学んだ知識を自らの「強み」として強みをどのように生かしていくのかを考えながら行動変容し、キャリア形成していけることを期待しています。学びの蓄積が自らの中で応用でき、今後の大きな自信となり、地域や職場の課題達成や自己実現に活かせるものであって欲しいと思っています。（特別養護老人ホームアンタレス 施設長 呉竹 礼子 様）

福祉分野に携わる現場の「人材育成」の重要性は、誰しもが唱えることではあるが、日々の業務に追われる中で、外部の学びに職員を派遣することに困難を覚えてきた。しかし、本アカデミーに職員を派遣できたことに満足している。背景の多様な受講生の「課題意識」を醸成させる学習環境からのインタラクティブな学びは、「実学」として当施設の今後の運営に役立つと期待している。今後も職員を派遣することで「よき福祉文化」を創りあげる一助としたい。（公益財団法人近江兄弟社 常務理事 藪 秀実 様）

昨年度から開講された「えにしアカデミー」に当法人から職員1名を派出いたしました。大学卒業後当法人に入職し20数年の経験を持ちますが、今までは当法人内の経験でしかありませんでした。アカデミーで様々な種別の観点から福祉の原点を学ぶことにより、今までとは異なる見識を広め、職業人としてだけでなく人としての幅を広げられているように感じます。学びと仕事を通して、福祉人としてさらに成長されることを期待しています。（社会福祉法人小鳩会 小鳩乳児院 猪飼久雄 様）